

『未知への挑戦』とくしま行動計画」及び 「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」の評価結果の概要

1 県政運営評価戦略会議について

政策推進に係る「県民意見の積極的な反映」と「県民目線からのチェック機能の強化」を図るため、県政運営評価戦略会議（以下「戦略会議」という。）を設置している。

この度、戦略会議において、令和元年7月に策定された県政の運営指針である『未知への挑戦』とくしま行動計画（以下「行動計画」という。）及び挙県一致で地方創生を推進するための「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」（以下「総合戦略」という。）の施策について、評価を行った。

評価結果は、「徳島県総合計画審議会」、「地方創生“挙県一致”協議会」にそれぞれ提言し、次期総合計画の策定や総合戦略の改善見直し、新たな施策展開等につなげていくこととしている。

あわせて、「とくしま目安箱」等に寄せられた県民からの意見・提言の中から優れたものを選定し、「徳島県総合計画審議会」に提言することにより、県政への積極的な反映を図ることとしている。

2 評価方法について

（1）評価の対象

行動計画に位置付けられた主要施策（9 1 施策）及び総合戦略に位置付けられた具体的な施策（1 5 施策）を対象とした。

（2）評価の視点

行動計画は、令和元年度から令和4年度までの4年間の計画期間のうち3年目の、総合戦略は、令和2年度から令和6年度までの5年間の計画期間のうち2年目の評価として、評価基準を客観化し、計画改善見直しに向けた「委員からの提言」に重きを置いて評価を実施した。

また、県では、新型コロナを始めとした「3つの国難」打破に向け、「DX」と「GX」の実装を2つの推進エンジンとして位置づけ、施策展開を図っていることから、「DX」および「GX」に関連する項目を大括り化して取組状況を可視化し、委員から意見を募った。

（3）戦略会議の開催状況

行動計画及び総合戦略について、全3回開催した。

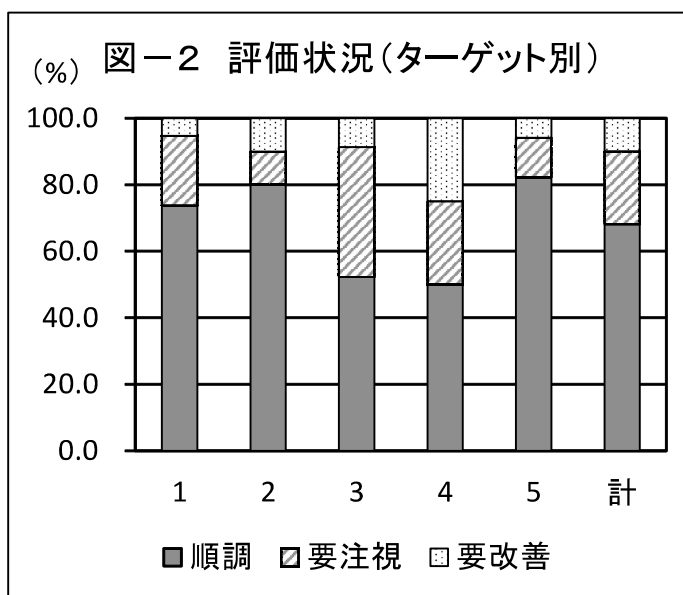
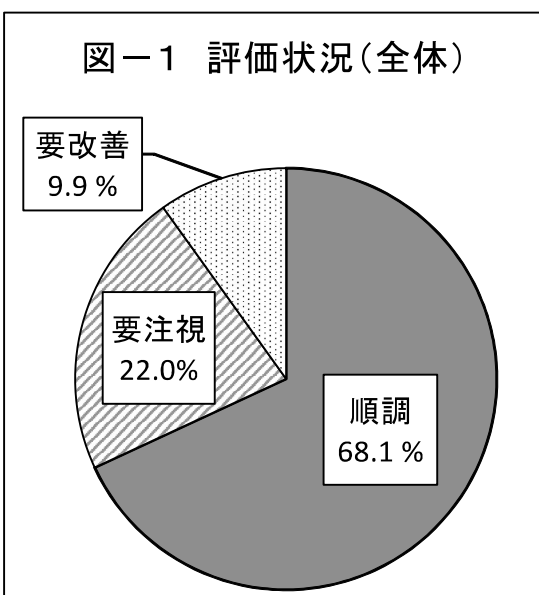
3 行動計画の評価結果について

(1) 総括

「順調」と評価されたものが62施策(68.1%),「要注視」と評価されたものが20施策(22.0%),「要改善」と評価されたものが9施策(9.9%)となった。

表－1 主要施策の評価結果

ターゲット	主要 施策数	評価結果		
		順調	要注視	要改善
1 未来へ雄飛! 「笑顔とくしま・県民活躍」の実装	19	14 (73.7%)	4 (21.0%)	1 (5.3%)
2 未来へ加速! 「強靱とくしま・安全安心」の実装	20	16 (80.0%)	2 (10.0%)	2 (10.0%)
3 未来へ挑戦! 「発展とくしま・革新創造」の実装	23	12 (52.2%)	9 (39.1%)	2 (8.7%)
4 未来へ発信! 「躍動とくしま・感動宝島」の実装	12	6 (50.0%)	3 (25.0%)	3 (25.0%)
5 未来へ継承! 「循環とくしま・持続社会」の実装	17	14 (82.3%)	2 (11.8%)	1 (5.9%)
計	91	62 (68.1%)	20 (22.0%)	9 (9.9%)
参考 R3年度の評価結果	91	50 (54.9%)	16 (17.6%)	25 (27.5%)



(2) ターゲット別 意見提言（抜粋）

ターゲット1 未来へ雄飛！「笑顔とくしま・県民活躍」の実装

- デュアルスクールについては、地域に短期居住できる場所があれば、受入れをしやすくなる自治体もある。空き家の活用や居住場所の確保など、教育分野だけでなく、他分野との連携が非常に重要だと思う。
- 本社機能の移転について、徳島に移転すると企業側にどのようなメリットがあるのか、企業がどのようなことを求めているのかなどを視野に入れ、企業目線での政策づくりをお願いしたい。
- 学校給食を試食したのだが、野菜の量は少なく、先生方からは野菜が残飯として残っていることが多いと聞いた。本県は肥満児童が多いということで、学校給食や各家庭において、野菜を1日350グラム摂取できるよう、指導を行っていただきたい。

ターゲット2 未来へ加速！「強靱とくしま・安全安心」の実装

- 国土強靱化やインフラの長寿命化の課題がある中、生物多様性やグリーン社会の推進という点で将来を見据えた場合に、インフラをグリーンインフラに置き換えていくことも検討してもらいたい。
その検討の際には、グリーンインフラにはどのような可能性や技術があるのかを考慮し、徳島ならではの取組をお願いしたい。
- 鳥獣被害対策について、県下各地でシカやイノシシ、カラスの被害があるという声を聞くので、より強力に鳥獣被害対策に取り組んでいただきたい。

ターゲット3 未来へ挑戦！「発展とくしま・革新創造」の実装

- 大阪・関西万博では、徳島が先陣を切って、「徳島『まるごとパビリオン』』というコンセプトのもと、地域の生き方や生活の仕方を伝えていくと思うが、これが徳島の積極的かつ先進的な取組であるということを発信し、他に埋もれないようにブランディングしていただきたい。
- 農林水産業は小規模・零細事業者が多く、長引くコロナ禍と物価高騰の中で、経営維持は非常に厳しい状況である。経営が圧迫されると、耕作放棄地の増加にも繋がるおそれがあるため、事業者に対する補償等を検討していただきたい。
- にし阿波地区の世界農業遺産の維持発展について、高齢化が深刻化する厳しい状況ではあるが、市町村と連携しながら取り組んでもらいたい。

ターゲット4 未来へ発信！「躍動とくしま・感動宝島」の実装

- 徳島県へ自転車に乗りに来て下さいねと言っても、基本的に車が多く走っており、現状ではなかなか難しい。なおかつ自転車を持ってきて移動することも大変である。来ていただいた方が自転車に乗りやすい仕組みづくりが必要である。
- 朝ドラの誘致・支援にも是非チャレンジいただきたい。三好長慶以外にも、徳島ゆかりの偉人はたくさんいる。中でも大正から昭和にかけて人々のために尽くした社会運動家である、賀川豊彦夫妻をモチーフにした朝ドラへの機運を醸成してはどうか。

ターゲット5 未来へ継承！「循環とくしま・持続社会」の実装

- SDGsは、新聞にも掲載されていたり、色々な活動が行われ、今本当に取り組まないといけない問題であるのは分かるが、詳しい内容を知らない人もいると思うので、各地域に出向いて話をしていただきたい。
- 県内沿岸でたくさんの漂流物が打ち上げられており、県と沿岸市町村とが連携した取組が強く求められている。是非、県にはリーダーシップを取って進めていただくとともに、清掃活動に取り組むボランティアの方が意見を言える場を設けていただきたい。
- 四国新幹線は、利用者目線から言うと、徳島が主張している関西から淡路島を通過して四国を横断するルートが一番便利と考えている。引き続き整備に向けて頑張ってもらいたい。

(3)「DX・GX」の視点からの意見提言（抜粋）

- リモートを併用する際は、デジタルデバイドで困っている方々のことは忘れてはいけない。コロナ禍で、直接使い方を教えることは難しい状況ではあるが、しっかりとその対応に取り組んでもらいたい。
- 生物多様性、カーボンニュートラル、SDGsは、全部局に関わることである。こういうテーマに対して、各所属それぞれにどういう関連性があるのか、どのように貢献できるのかといったことを、自分事として考える場や時間を作ってはどうか。GXに関連する問題は、各所属がバラバラに取り組むのではなく、一緒になって進めていただきたい。
- DXとGXについて、県がフロントランナーとして走っているが、市町村とはまだかなり温度差があると思う。DX、GXが、市町村も含めて徳島県全体の共通言語となるように進めていただきたい。

4 総合戦略の評価結果について

(1) 総括

「順調」と評価されたものが10施策(66.7%),「要注視」と評価されたものが5施策(33.3%),「要改善」と評価されたものは無かった。

表-2 具体的な施策の評価結果

基本目標	具体的な 施策数	評価結果		
		順調	要注視	要改善
1 「未来を担うひとの流れ」づくり	3	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)
2 地域を支える 「魅力的なしごと」づくり	4	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)
3 結婚・出産・子育て 「希望がかなう環境」づくり	3	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)
4 安全・安心 「持続可能な社会」づくり	5	4 (80.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)
計	15	10 (66.7%)	5 (33.3%)	0 (0.0%)
参考 R3年度の評価結果	15	8 (53.3%)	6 (40.0%)	1 (6.7%)

図-3 評価状況(全体)

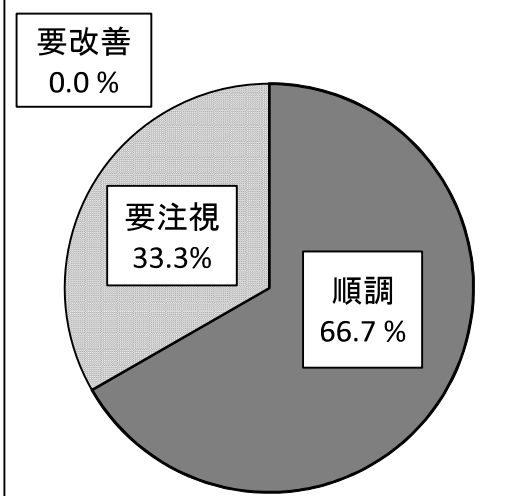
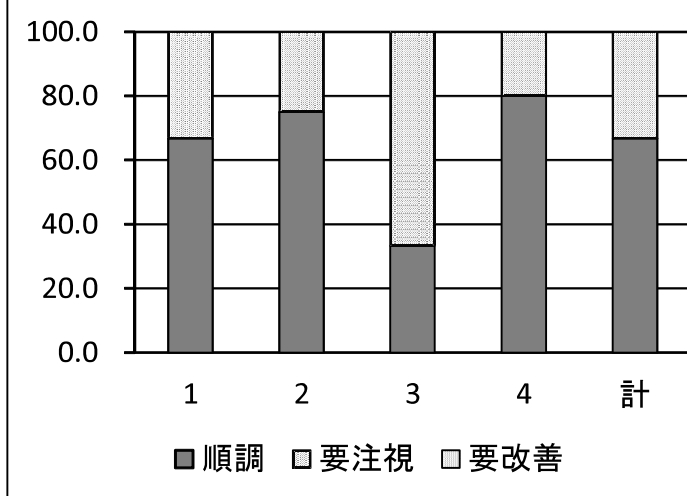


図-4 評価状況(基本目標別)



(2) 基本目標別 意見提言（抜粋）

基本目標1 「未来を担うひとの流れ」づくり

- とくしま若者応援サイト「AWAIRO」の立ち上げ時には県内の大学生も誘って、色々と議論をする場を設けていただき、県政や地元の地域に対する思い入れが深まるいい機会になったと思う。是非引き続き、徳島の若者が活躍できる場に県内の学生も誘っていただきたい。
- キャリア教育について、起業に関する教育も進めているとのことだが、起業という税金の問題が付きものであるため、学習内容に租税教育を取り入れていただきたい。

基本目標2 地域を支える「魅力的なしごと」づくり

- 観光プロモーションについては、コロナ前の流れに戻ってから対策を行うのでは遅く、今が打ち出していく時だと思う。他県に先立って動くことが重要で、どういうターゲットにするかも含めて対策を検討いただきたい。
- 若者だけでなく、高齢者がやっても楽しいのがeスポーツであるので、高齢者が始めやすい環境整備を是非検討してもらいたい。
- 「Turn Table」において、にし阿波の世界農業遺産のものを取り入れたり、食以外の徳島の伝統文化や伝説というところも取り上げるなどの工夫をし、「Turn Table」を通した徳島のアピールを進めていただきたい。

基本目標3 結婚・出産・子育て「希望がかなう環境」づくり

- 出生率の上昇や待機児童の解消も当然重要だが、「困難を抱える子どもへの支援」に関する施策には、より一層力を入れてもらいたい。

基本目標4 安全・安心「持続可能な社会」づくり

- 普段の生活の中で、若い人たちがかなり交通面で困難を抱えており、改善を望んでいるという話を聞いた。汽車が駅に着いて、そこから目的地へ向かう時のバスの接続が特に大きな問題。公共交通の利便性促進のため、事業者に対してのサポートや、事業者同士の連携へのサポートに取り組んでももらいたい。
- 生物多様性の劣化は、SDGsの目標の中でも特に世界的に大きな課題である。千年サンゴや剣山サポータークラブなど、継続的に頑張っている所での現状の課題について、このような会議の場で共有し、自分事として考えてもらえるような契機としていただきたい。

5 戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」

(とくしま目安箱等への投稿)

項目	意見・提言の内容
1 県のイメージアップについて	<p>世界観光地ランキングで第6位に四国が選ばれている。四国の観光地もだが、お遍路さんの文化が関心を集めている。世界から観光客が訪れると思われるが、観光ルートやお遍路道、お接待、民宿等のPRが必要。</p> <p>めったにないチャンスであるため、日本をはじめ世界に向けてTVコマーシャル等でアピールし、一気に県のイメージアップ、観光客の誘致、住みたいまち等のイメージを上げ、人口減少を食い止める手立てとするような、総合的な施策を考えているのか。</p>
2 自転車の活用について	<p>私は自転車に乗るのが好きだが、遠方に行くには不便だなと感じることがよくある。ドイツでは、列車に自転車専用車両があり、自転車を乗せて移動できた。列車で移動し、駅から自転車で動けば移動範囲が広がり、観光やちょっとしたおでかけでも更に楽しめると思う。</p> <p>ただ、なかなか実現できないかもしれないため、観光地の駅周辺や街中におけるレンタサイクルの設置を提案する。ハワイなどによくあるが、無人のレンタサイクルスポットがあればすごく便利だと思う。支払はキャッシュレス決済が使える、どこでも借りたり返したりができ、スマホでサイクルスポットの検索やレンタサイクルの残数や返却が可能か確認できたりすれば、インバウンドの獲得にもつながるのではないかとと思う。</p>
3 自転車王国について	<p>しまなみ海道のように、鳴門大橋の下の部分を自転車で走れるようにして欲しい。それができてはじめて自転車王国と名乗れると思う。淡路島と鳴門をつないで、観光の目玉にしてはどうか。せっかく資源があるのに使わないのはもったいない。</p>
4 プラごみゼロスマート宣言について	<p>プラごみゼロスマート宣言やSDGsへの取組を宣言しているのは素晴らしいことであり、応援したいと考えているが、徳島県は取組としてはまだまだで、もっと積極的に行って欲しい。</p> <p>徳島県のいろんな部署、事業などでクリアファイルの提供や、うちわの配布、プラ製キーホルダーの配布など、粗品や景品として配布を行ってはいないか。プラごみ、プラスチックやペットボトルの消費についてもっと考えて事業を行い、循環型社会への移行を早く進めて欲しい。</p>
5 子育てに係る「父親支援」について	<p>産後から男性が子育てに主体的に参加することが当たり前の社会になってほしいと考えている。産後であれば妊娠中、育休復帰であればその前に、父親もきちんと育児について学び、実践できるようにするための「父親支援」を徳島でもっと広げていって欲しい。</p>
6 県立木のおもちゃ美術館について	<p>木のおもちゃ美術館の入場者数制限に伴う受付方法について、見直しをお願いしたい。</p> <p>先日訪問した際は、建物前での直接受付だったが、これだと遠くからの訪問者はとても入りづらく、小さい子どもを連れて早朝から出かけるのは大変である。県立の施設で、県内の居住地によって利用のし易さに差が出ることに對して不満を感じる。</p> <p>徳島県はネット環境の良さで積極的に県外企業の誘致をしていたと記憶している。感染対策という意味であれば尚更、そういったものを利用し、webでの受付等、もう少し多くの人にとって利用しやすい受付方法を検討していただきたい。</p>
7 とくしま水物語(仮称)のパンフレット作製について	<p>徳島には、無料で水が汲めるところが数カ所あるが、それを紹介しているパンフレットはあまりないと思う。(例として、南小松島駅前の「のぞみの泉」や「宝寿水」や、徳島市蔵本駅前の「蔵清水」など、ポンプを汲み上げているものがほとんどかもしれない。)</p> <p>愛媛の伊予西条のように豊富に湧出はしないけれど、徳島県民・日本国民に知ってもらえるようなパンフレットを作製して欲しい。</p>